

支援プログラム

事業所名

ポニーの家

作成日

2025 年

1 月

26 日

法人（事業所）理念	子どもたちの最善の利益を大切に、子どもたちの個性を尊重する居場所作りを目指し、自立を育みます。 ひとりじゃないよ！と周りの大人や他の児童との「人との関わり」を大切にします。 災害時の避難時には地域の中で避難生活を送れる強い子どもに育みます。 保護者へのレスパイトケアも忘れず、一体になり子どもの成長を見守って行きます。		
支援方法	自立をめざし、自分の事は自分での生きる力を育みます。 子どもたちが安心して過ごせる居場所と子どもの成長に合わせて育みます。 SST・LSTの向上と地域交流・社会参加を促し各関係機関との連携を通じて児童の瀬尾超のサポートをサポート致します。		
営業時間	平日 土曜日・長期休み	10時 ～ 17時30分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	身だしなみや食事のマナーなど生活上のスキルを習得自立した生活が送れるようサポートします。 自分の事は自分でをモットーに学校の体操服や水着・上靴など洗濯と登校の準備を行います。 土曜日・長期休み期間は健康面から食事の偏りがないよう食育を取り入れ、どの食材を使いどのように調理するのかを話しながら食事をします。	
	運動・感覚	食事やおやつの際には姿勢保持や運動の際にはバランス感覚や身体能力の向上を育みます。 子どもたちが保有している視覚・聴覚・五感を使つての切り替えをスムーズに行えるよう育みます。 手先のトレーニングでは、作業所の協力を得てお仕事を頂き訓練の時間を設けます。卒業後の社会参加に向けトレーニングを行っています。	
	認知・行動	理解する（言葉や視覚でルールを聴いて見て行動する）色や形・数字等視覚と言語で、ルール・指示・置換え等に取り組みを行い認知・行動を育みます。	
	言語 コミュニケーション	困ったときに何が困ったか？嫌なときは嫌と伝えられるよう日頃から大人や子どもたちとのコミュニケーションから言語の理解力と表現力を育みます。	
	人間関係 社会性	大人や子どもとの関係性を築き社会性の向上を図ります。 外遊びや遠足（野外活動）など社会的な場でのルールやマナーを社会性の発達を育みます。 中学生からは作業訓練を取り入れ早い段階から社会に出る準備を行う時間を設けています。	
家族支援	常に保護者との連携を行い、児童の状況を把握します。また家族の困りごとなど伺い支援のお手伝いも行います。	移行支援	移行支援として、中学生からは作業所の協力を得て内職作業を頂き作業訓練を行います。
市域支援・地域連携	交流の場として支援時間内でも地域の子もだちと一緒に遊べ交流できる時間をもうけています。また、地域・支援学校との連携は常に行い学校の様子なども見学に行き子どもの様子を把握します。	職員質の向上	内部研修・外部研修を取り入れ資質向上の資格取得希望職員には補助を行います。
主な行事	四季に応じた、都外活動（公園・海遊び・川遊び・BBQ）ひな祭りに着物を着てみる・お花見・ハロウィン・クリスマス会・お正月行事・他事業所との交流会・買い物・調理・誕生会・		